

立教大学共生社会研究センター主催オンラインセミナー「AI時代のアーカイブズ評価—情報的大海をスマートに渡るには」（2026年4月3日）開催のお知らせ

アーキビストの様々な業務のなかで最も難しいと言われるアーカイブズ評価に関する考え方は、この30年間に変化を遂げ、仕事の現場で、文書作成前から始まる包括的な過程としてとらえられるようになりました。その一方で、技術革新により日々生み出される情報の大海に溺れることなく、記録をめぐる賢明な判断を下すのは容易ではありません。

そこで本セミナーでは、アーカイブズ評価の分野で国際的なリーダーシップを見せるバスマ・マフルーフ・スハーブー（Basma Makhoulf Shabou）氏をお招きし、AI時代における最先端の知見をご紹介します。

より「賢い＝スマートな」アーカイブズ評価を、様々な技術を活用しながらどう実務に取り込んでいくべきか、ぜひ一緒に考えてみませんか？

【日時】2026年4月3日（金） 14:30～16:00

【開催方法】オンライン（Zoom）

【共催】

- ・ JSPS 科研費・国際共同研究加速基金(海外連携研究)「アーカイブズ評価自動化のためのAIツールの概念実証」（研究代表者：橋本陽（京都大学大学文書館））
- ・ JSPS 科研費・基盤研究（B）「社会的養育における当事者主体の記録管理システム導入に向けた基礎研究」（研究代表者：阿久津美紀（立命館大学衣笠総合研究機構））

【後援】全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

【プログラム（予定）】

14:30 開会

14:35 バスマ・マフルーフ・スハーブー氏講演

15:35 質疑応答

16:00 閉会

【通訳】英⇄日同時通訳あり

【参加費】無料

【参加定員】80名（先着順）

【申込方法】下記 Zoom 登録リンクより事前申込（先着80名）

https://rikkyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/T2OS8T_0RFCznBkGQWxh4g

* 定員に達した時点で登録は締め切ります。

【講演者プロフィール】

バスマ・マフルーフ・スハーブー(Basma Makhlouf Shabou)氏

西スイス応用科学芸術大学 (HES-SO, Haute école spécialisée de Suisse occidentale)・経営大学院ジュネーブ校 (HEG, Haute école de gestion de Genève) 教授・情報科学専攻修士課程主任。専門は計算論的アーカイブズ学 (Computational Archival Science)、自動評価選別 (Automated Appraisal)、デジタル保存、情報ガバナンス評価など多岐にわたる。2010年にモントリオール大学で博士号 (情報学) を取得。自治体などの公的機関や国際組織 (国際赤十字委員会(ICRC)、世界貿易機関(WTO)、国際社会事業団(ISS)、Enfants du Monde) などと幅広く協働するほか、仏語圏スイス初のアーカイブズ学研究所である ArchiLab を率い、アーカイブズ評価と AI アプリケーション (InterPARES AI)、研究データ・ライフサイクル管理 (DLCM/OLOS) などの先進的研究や、アーカイブズ機関のマッピング (Open Map for Archives Network in Africa, CORAA) などのプロジェクトに取り組んでいる。

デジタル保存賞 (2020 年)、フランス芸術文化勲章シュバリエ (2021 年) などの受賞・受章歴に加え、2022 年にはアフリカを代表するアーカイブズ専門家のランキング(トップ8)の第1位に選出。ヨーロッパ、アジア、アフリカの多様な制度環境で、情報ガバナンス方針策定、成熟度評価実施、アーカイブズ管理の枠組み構築などに関する豊富な実績を有する。

★詳細は下記のウェブページでもご覧いただけます。

<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/rcccs/news/2026/mknpps000003mb7a.html>